

1/31 図書室 休館のお知らせ

資料整理のため、1月31日(土)は、図書室をお休みします。2月1日(日)からは平常どおり利用できます。 問合せ 社会教育センター 図書室 28・5449



児童書

てぶくろのふたご



(小学1~2年生向け)

二宮 由紀子 文 (理論社)

リリカちゃんのでぶくろは、ふたごの女の子。マフラーは、おばあちゃんのうちで育った男の子。おでかけするときは、いつもいっしょ！小さな子の身のまわりの世界をてぶくろたちの視点からいきいきと描いた絵本。

会社の未来は女性が拓く！

植田 寿乃 著 (日本経済新聞出版社)



女性の力を活かし、それによって会社を変えるためのヒントを提案。「女性活躍推進」のあるべき論や経済効果、先端事例の分析ではなく、著者が日本中の企業の研修や講演で体感したことなどを伝える。

辞書には載らなかった不採用語辞典

飯間 浩明 著 (PHP研究所)



いさぎなき、ウロキヨロ、ぼちる……。『三省堂国語辞典』の編纂者が、文芸書からツイッタ―、パス中の大学生の会話までを涉猟して集めた、辞書に載らないけれど魅力的なことばたちをユーモアたっぷりに解説する。

豊山俳句クラブ

青山克己選

悠久の流れや霧の秋棚田 高木須磨子
坪井昭子
槍・穂高遙かにのぞむ紅葉晴れ

秋の陽の透けてマリーローランサン 岡島 齋
杉浦みどり
神の秋ふかまる熊野古道かな

苔むした古道や風の草紅葉 小塚美枝

豊山歌壇

水野笑子選

落合さなえ
臥しるても青空見ゆる病室の
清しき手厚く看護受けつつ

荒川昌枝
大戦後の物資不足に六人の
子等養育の父母を偲びぬ

安藤定岳
兄弟に遊びし頃を思ひ出す
近くに住むも会ふこと少なし

一柳千鶴子
既にして逝きたる姉と親しみし
人らも僅かとなりては淋し

石黒貴代子
土の香の残りし里の芋煮かな

杉本衿子
橋渡る遠目に紅く藪椿

坪井径子
穏やかな日差しや軒の柿すだれ

安藤春一
薄日さす古き土蔵や干大根

青山とも子
花の窟を捧げし花参り

村上ゆり子
霧深く流るる溪の千枚田

青山克己
秋の日をひとり柱にもたれてるし

井上とよほ
神怒とふ突如噴火の御嶽山
人の力も太刀打ちならず

木村和子
昏れゆけば別れがたきを諦らめて
あの世この世の境ひ目にある

榎田真寿美
雲一つ無き蒼天を見上ぐれば
木曾御嶽に煙噴き上ぐ

安達洋子
思ひ出の写真も文も捨てたのに
あなたは胸に熱く残れり

小出寿枝
信仰の山とあがめられし御嶽の
突然の噴火に言葉失ふ

近藤時峰
百歳を目標にして生き居るも
いつ果てるやらまだ遠き

編集後記

新年明けましておめでとうございます▼正月は、私たち日本人にとって、一つの区切りとして、大きな意味があるといっても過言ではないだろう。数年前に厄年のお祓いをした頃から、毎年、大晦日の夜は、地元の神社に向かい、初詣の参拝者の列に並ぶようにしている▼午前零時を迎え、ほんの数分前と何ら変わりのないはずの空気が、自分の周りの人々までもが、一斉に新しい気持ちに切り替わる。旧年中の喜びや感謝の気持ち、苦しい出来事や反省が一瞬にして切り替えることができるような気がする。そして、今年も良い年でありませうようにと鐘をたたき、お祈りをする▼家に帰ってから、新しい一年に思いを馳せながら興奮気味に床に就く。なかなか眠れず、気がつけばお年玉を期待する子どもたちの賑やかな声を覚ます。これが、ここ数年の我が家の元旦となつている▼本年は、第四次総合計画の後期基本計画の開始年度である。また、MRJの初飛行が予定され、新しい豊山町の幕開けとなる節目の年である▼町民の皆さんと力をあわせて、子どもたちの時代に語り継がれる歴史的転換点となるよう豊山町を盛り上げていきたい▼本年もどうぞよろしくお願ひいたします。